



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2010, 94(2): 269-270

ISSUE DATE:

2010-05-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169298>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成22年5月5日発行(毎月1回5日発行)
物 性 研 究 第94巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.94 no.2

物性研究

2010 / 5

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu **90** (2008), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. 原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

決算報告

2009年度の決算報告がこの程まとまりましたので、下記の通り、報告します。

物性研究編集長

2009年度 決算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

1. 収入の部 (円)

区 分	金 額
前年度繰越額	5,317,366
個人会費	766,470
機関会費	3,494,803
別刷代金	109,382
その他(著作権料等)	33,127
計	9,721,148

2. 支出の部 (円)

区 分	金 額
印刷費	3,340,543
送料等	318,626
編集費	88,400
事務費	61,425
事務委託料	660,000
別刷制作費	176,743
次年度繰越額	5,075,411
計	9,721,148

3. 年間収支差額 (円)

区 分	金 額
収入額	4,403,782
支出額	4,645,737
差引額	-241,955

編集後記

私の所属する研究室では修士一回生が4月から3月まで週に一回午後をつかって教科書の輪読をおこないます。毎年の春になると、この教科書を決めることが楽しくもあり、つらくもありという時期がやってきます。

輪読には研究室のメンバーが全員そろうので、メンバーが知っている分野の初歩的すぎる本は候補からはずれることになります。もちろん、非常にアドバンストな本は修士の学生が限られた時間内で読み進めることができないので現実的ではありません。研究室の誰かが目をつけていた良い本がある場合(しかし、他メンバーから拒否権を発動されることもあります)を除けば、ここ数年は、論文雑誌の Book review から候補をきめる、amazon.comなどでキーワードをいれて出て来たものから候補をきめる、という方法をとっています。

候補リストができれば、現物の本を院生数人の図書カードをつかって大学内の図書室から集められるだけ借りてきます。この10冊程度の本が研究室のテーブルの上につまれている、皆が気の向くときにペラペラと目を通してはグダグタと感想を述べあうことが数日から一週間つづきます。このときが一番楽しいのは御想像のとおりです。

候補から一冊が選ばれていざ読み始めてみると6月頃には、失敗したなあとか、期待してなかったけど結構良い等の審判が下り始めます。「誰だこれを選んだ奴は？」という犯人探しがはじまると最悪です。年度途中で本を変えることもあります。ここが辛いところになります。

(春日湯)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

柳田 達雄 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
川口 由紀 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
柳瀬 陽一 (新潟大・理・物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)
水島 健 (岡大・理・物理)
栗津 暁紀 (広大・理・数理分子生命)
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 94 卷第 2 号 (平成 22 年 5 月号) 2010 年 5 月 5 日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 94-2 (5月号) 目 次

○講義ノート

「最適化問題の統計力学的研究」…………… 福島 孝治 …… 137

○液晶を分散媒としたコロイド系

—液晶の変形が媒介する粒子間相互作用— …… 福田 順一 …… 170

○研究会報告

「相関電子系における光誘起現象」…………… 202

「生物物理若手の会 第49回夏の学校」…………… 230

○決算報告 …… 269

○編集後記 …… 270